



▲坂元事務局長の話聞きながら、作業を進める参加者の皆さん

新しい宝を探して地域づくり

8/30
天草

～「地域の宝探しマップづくり」ワークショップ～

8月30日、阿蘇地域振興デザインセンターの坂元英俊・事務局長を講師に迎え、「地域の宝探しマップづくり」ワークショップが高浜公民館で開かれました。このワークショップには、天草地区内5つの地区振興会から約70人が参加。「地域の宝物」「地域が困っていること」などについて話し合った後、地区振興会どうして意見交換しました。今後、地区内を散策して身近な『宝物』を探し、来年2月ごろ宝探しマップを完成させる予定です。



▲親子が力を合わせて優勝した浅海チーム

親子で熱戦を展開!

9/2-9
牛深

～牛深地区親子ソフトボール大会～

牛深地区第33回親子ソフトボール大会が9月2・9日、牛深グラウンドで開催されました。同大会は、小学生とその親が協力し、1回から4回までのイニングを子どもたちが、5回から7回までを親が戦う方法で実施。絶好のスポーツ日和の中、元気な小学生とその親が残暑も吹き飛ばすような熱戦を繰り広げました。決勝は、浅海チームと宮崎チームが対戦。逆転に次ぐ逆転のシーソーゲームの末、10対8で浅海チームが見事、優勝しました。



▲世話役の熊本大学生の指導を受けながら夕食作りに励む子どもたち

助け合いや我慢の心を学ぶ

9/3~7
本渡

～宮地岳わんぱく通学合宿～

宮地岳小学校の児童22人が、公民館に寝泊まりし、身の回りのことを自分たちで行いながら通学する「宮地岳わんぱく通学合宿」が、9月3日から同7日までの4泊5日(1・2年生は6~7日の1泊2日)の日程で行われました。これは、宮地岳地区振興会などが、さまざまな体験を通して、子どもたちにたくましく育ててもらおうと行ったもの。子どもたちは、テレビやお菓子などが禁止された生活の中、炊事や洗濯などに励み、助け合いや我慢の心を学びました。



▲幼年消防クラブのメンバーが救急医療啓発のチラシなどを配布

救急医療の重要性と安全運転を呼びかけ

9/5
倉岳

～救急普及街頭キャンペーン～

9月9日の「救急の日」を前に、市民の皆さんに救急医療の重要性を再確認してもらうとともに、安全運転を呼びかけようと、同5日、天草中央消防署倉岳分遣所(山下浩二所長)が救急普及街頭キャンペーンを棚底地区の国道266号で実施しました。当日は、苓陽幼稚園と倉岳保育所の幼年消防クラブの園児21人が、救急の日のチラシや交通安全のお守りをドライバーに配布し、救急医療の重要性と安全運転を呼びかけました。



Treasure Island Topics 宝島の話



▲オーナーとその家族が、デコボンの木と記念撮影

おいしいデコボンになりますように

8/19
有明

～デコボンオーナー命名式～

デコボンの木のオーナーを募集していた大浦地区振興会が8月19日、抽選で決定したオーナーを招いて、木に名札を取り付ける命名式を行いました。1人1本で計30人のオーナーを募集したところ応募が殺到。急きょ70人に増やしました。命名式にはオーナーやその家族など約100人が参加。オーナーの皆さんは、まだ青い果実に「おいしいデコボンになりますように」などと話しかけていました。なお、収穫は来年1月下旬ごろの予定です。



▲アンモナイトの化石を見つけたぞ!

島は化石の宝庫!

8/25-26
御所浦

～親子化石セミナー～

8月25・26日、親子化石セミナーが行われ、市内外から約40人の親子連れが参加しました。御所浦白亜紀資料館主催で学芸員らの指導を受けながら、初日は、約8500万年前の白亜紀後期の地層がある無人島で、アンモナイトをはじめ、貝や魚のウロコなどたくさんの化石を採集。2日目には、採集した化石の不要な部分を取り除く、クリーニング作業を体験し、でき上がりにも納得のようす。参加者は、「来年も参加したい」と声を弾ませていました。



▲歌に合わせたお手玉遊びに夢中の寺子たち

明治初期にタイムスリップ

8/25-26
栖本

～寺子屋体験学習～

小学校6年生を対象にした寺子屋体験学習が8月25・26日、湯船原の西真寺で開かれました。これは、明治初期に行われていた寺子屋を再現し、当時の暮らしに触れてもらおうと、市青年団栖本支部が毎年行っているもの。この体験学習には、栖本小学校と倉岳の宮田小学校の6年生、合わせて30人が参加。児童は着物を身にまとい、寺子となり、お手玉など昔の遊びを体験したほか、天草の民話や歴史について学び、新たな発見に目を輝かせていました。